第 17 回 多文化共生のための
国際理解教育・開発教育
ZOOM を使って
オンラインセミナー

共に生きる地球社会の実現に向けて、
国際理解教育・開発教育の実践セミナーを開催します。

対象者：国際理解教育・開発教育に興味のある教職員、学校関係者、学生、高校生

参加費無料

主催：兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、公益財団法人神戸 YMCA、公益財団法人 PHD 協会、
公益財団法人アジア福祉教育財団難民事業本部、独立行政法人国際協力機構関西センター（JICA 関西）

8月4日（火）

13：00-14：30 >>　基調講演　≪参加型≫

「COVID-19 と開発教育」　定員：80 名（先着）

■講師：開発教育協会（DEAR）事務局長　中村絵乃

■内容：COVID-19 は、今の社会の問題を明らかにし、教育の役割を大きく問い直すことになりました。ウィズコロナの時代に、持続可能な社会を作るための教育をどのように進めればよいのでしょうか。グループワークも含めて、皆さんと考えていきたいと思います

15：00-17：00 >>　分科会①　≪参加型≫

「プラスチックごみ」（国際理解、環境、SDGs）定員：20 名（先着）

■講師：開発教育協会（DEAR）職員　伊藤容子・八木亜紀子

■内容：DEAR が作成中の教材「プラスチックごみ」を使ったワークショップです。プラごみをめぐる日本と世界の現状、リサイクルの謎、そして、より良い未来のためのアクションについて考えます。 ※外務省 NGO 相談員事業

8月5日（水）

13：00-14：30 >>　分科会②

「ICT × SDGs：ﾊﾞｰﾁｬﾙ学校訪問から見る、遠隔授業の可能性」
（多文化共生）　定員：40 名（先着）

■講師：滋賀県立米原高等学校教諭　堀尾美央
　　コレジオサンタナ学園（ブラジル人学校）校長　中田ケンコ

■内容：COVID19 の影響によって学校現場に身近になった ICT 教育。滋賀県の外国人学校と中継接続した遠隔授業を通じて、ICT × グローバル教育を体験してみましょう！

15：00-16：10 >>　分科会③　≪参加型≫

「ワークショップで考える難民」（難民）　定員：48 名（先着）

■講師：難民事業本部関西支部　中尾秀一

■内容：あなたの家族が難民になったらどうしますか。難民とはどのような人なのでしょうか。難民の定義や避難しなければならない原因、難民の身に降りかかる困難について、教室でもオンラインでも使える手法で考えます。

8月6日（木）

13：00-14：30 >>　分科会④　≪参加型≫

「ねこのポーポキと一緒に平和をつくりましょう」（平和）　定員：20 名（先着）

■講師：神戸大学大学院　国際協力研究科　教授　ロニー　アレキサンダー

■内容：「平和って何色？」平和そのものやそれを妨げるものについて問いかけるバイリンガルな猫、ポーポキ。オンラインで一人ひとりの積極的な平和づくりを目的とする参加型ワークショップです。

おねがい

≪参加型≫の分科会は顔を出して（カメラをオンにして）のご参加をお願い致します。

※申込書にご記入頂く個人情報は、セミナーに関連する事前・事後の諸手続きのみに使用いたします。

≪詳細・申し込み方法≫　**7 月 31 日（金）締め切り**

下記 URL　または　QR コード　より WEB フォームへお進みください。詳細をご確認頂けます。

【URL:　https://forms.gle/ixJZWRHae9ywPccj9　】

【お問い合わせ先】

JICA 関西　市民参加協力課　担当　遊川（ゆうかわ）　TEL：078-261-0384　／　E-mail：jicaksic-renkei@jica.go.jp